

「補助金等の適正交付」に係る質問等への回答

	対象	内容	質問に対する回答
1	資料4 補助金等の適正交付ガイドライン(案)	補助金のイメージがわかりません。次回の資料に負担金・補助金・交付金の対象事業を幾つか記載をお願いします。関連してそれらの評価内容と申請却下対象の評価内容をお願いします。今後の日進市が目指している方向性である総合計画と一致しないと公益性が満たされません。何に適合しているか総合計画の抜粋版でもあるといいかと思えます。一般的に一事業当たりの補助金の額と補助率の上限(目安)があれば教えて下さい。	補助金等の定義につきましては、補足資料を配布させていただきましたので、ご確認ください。過去の補助金等の評価内容につきましては、「補助金等交付についての提言書」から、総合計画につきましては、「第5次日進市総合計画」からそれぞれ抜粋したものを配布させていただいております。補助額と補助率の上限につきましては、補助金等の種類により金額が異なり、一概に言えないため、目安となる金額を提示することは難しいと考えます。
2	資料4 補助金等の適正交付ガイドライン(案)	そもそもですが、補助金の基本知識がありません。しっかりと準備が必要です。それを踏まえ資料展開を早めにいただけますと幸いです。	配布させていただいた、補足資料及び参考資料等をご参照ください。
3	資料4 補助金等の適正交付ガイドライン(案)	制度を利用する立場の気持ちがわかりません。より良くするために企業や団体の意見などあれば知りたいです。	事業者等から、新たな補助金や既存補助金の対象拡大についてご意見をいただくこともあると聞いております。
4	資料4 補助金等の適正交付ガイドライン(案)	作成後の「ガイドライン」はどのように活用するのでしょうか。 ①市内部の統一的な基準 ②補助事業者にも示し、見直しがあることを示唆する補足資料 ③その他	市内部の統一的な基準として、活用していきます。なお、ガイドライン策定後は、ホームページ等で公表することで、補助事業者等も閲覧可能となります。
5	資料4 補助金等の適正交付ガイドライン(案)	具体例の医療費助成金で例えば子ども医療費の場合・中学生までの対象を高校生に拡大するのは、上乘せ・横出しどちらか。 ・対象が入院となっているものを通院に拡大するのは、上乘せ・横出しのどちらか。 注釈が必要ではないでしょうか。	補助金等の制度において、対象を拡大するものについては「横出し」、交付する補助金等の金額や補助率を増やすような場合は「上乘せ」として整理しております。ご質問の場合は、両方とも「横出し」となります。
6	資料3 補助金等の適正交付について	平成19年度と平成29年度においては、補助金等の件数に大きな差があるが、なぜか。	前回の委員会において、補助金等の件数が大幅に増加したかのような回答をいたしました。が、以下のように訂正させていただきます。前回資料として提示しました平成19年度の審査結果において、当初から審査対象外としたものについては、件数の表記をしていないため、差が大きくなっております。